



## 酪農経営悪化に対する緊急要請

日本酪農政治連盟(佐々木 勲委員長)は、11月7日(木) 常任委員、中央委員による合同会議を開催し、国に対して酪農経営悪化に対する緊急要請を行うことを決議し、国会議員への要請など直ちに行動に入った。

この会議には、広島県酪農政治連盟の藤岡辰彦委員長も出席し、決議後に早速、広島県選出の国会議員への要請活動にあたった。

緊急要請の全文は次のとおり。

### 酪農経営悪化に対する緊急要請

最近の我が国酪農は円安の影響を受け、配合飼料・粗飼料をはじめとする生産諸資材の急激な高騰により、乳代赤字経営農家が急増し廃業を迫られるなど、極めて厳しい経営環境下にあります。

加えて、猛暑による乳牛の疲弊から、生産力も大きく落ち込んでおります。

配合飼料については、政府・国会の緊急対策、乳価も加工原料乳補給金等の引き上げ、指定団体と乳業メーカーによる飲用乳価引き上げなど、多大な配慮を戴いておりますが、TPP交渉への不安も併せ、我々酪農家は先行き経営不安から脱却できずしております。

このことは、未来を担う後継者不足にも反映しており、消費者に安全・安心な良質生乳を安定的に供給出来なくなることも想定されます。

つきましては、我が国酪農が今後とも永続できる生産基盤を確保するため、下記の対策を講じられますよう強く要請いたします。

#### 記

1. 緊急酪農経営悪化対策  
(生産基盤強化のために、猛暑の影響を受けた経産牛への対策など)
2. 自給飼料生産基盤の強化対策
3. 配合飼料価格安定制度の円滑運用対策
4. 過重労働解消のためのヘルパー事業に対する支援措置の強化

以上

日々徒然

かがやき



▼今年の広島東洋カープは十六年ぶりのAクラス入り、初のクラ イマックスシリーズ(CS)進出を決めた。この報道を見るとテレビも新聞もまるで「シリーズ優勝か」と錯覚する程の広島ファンの盛り上がりであった。

▼CSファーストステージでの阪神戦では、詰めかけた広島ファンで甲子園は真っ赤に染められ、その映像に驚かされた。「こんな甲子園は今まで見たことない」とのコメントも聞かれ、全国でもカープグッズの売上が伸長し、阪神を破ったことで、その期待感もあつてか「広島ファン」が急増しているとも報じられた。

▼「もしかして日本シリーズの切符を手にするのではないか」との淡い期待と興奮を抑えつつ、テレビの野球中継に釘づけとなったが、その夢も巨人に踏みつぶされ、少々意気消沈。顧みて「万年Bクラス」を脱しただけでも「よし」と自らに言い聞かせる結末。

▼結局、日本シリーズでは「東北楽天ゴールデンイーグルス」が球団創設九年目にして悲願の初優勝を果たした。カープを応援し続けたせいも、日本シリーズでも何故かしら赤みのかかった方を応援してしまった。

▼なんとなく、「戦後、原爆によって焼野原のとなった広島復興」と「東日本大震災からの復興」が重なった感もあった。3・11から三年が経とうとする中で、「東北・仙台」を拠点とする「楽天」。震災後、楽天の捕手・嶋選手は「何のために僕たちは闘うのか、はつきりしました。この一ヶ月半で分かったことがあります。それは、誰かのために闘う人間は強い、ということですよ」として、「絶対に見せましよう、東北の底力を！」と被災者を勇気づけていた。

▼こうした地元の期待と見えない力、後押しもあつてか、普通では考えられない田中投手の前日百六十球完投からの第七戦での連投から、選手、監督の熱い思いも感じられた。

▼こうした思いを選手一人ひとりが胸に秘めて戦ってきたことを、被災地では単なる「優勝」という「喜び」だけでなく、「元氣」や「勇気」となって感じられたことである。「スポーツの秋」に感じる「スポーツの力」。来年は是非「広島底力」で何かを感じさせてほしい。

(T・Y)

